

会員だより

ペルシャ文明展 煌めく七千年の至宝

を鑑賞して

場所：大阪歴史博物館
今から36年前日本とイランの間で基本協定が結ばれた、国家プロジェクトに参加し、1988年イラン・イラク戦争で中断するまでの約6年間、イランに駐在して、ペルシャ文化に非常に親しみを感ずるようになった。最初にイランに入国したのがイスハハン空港でイランの古都（ペルシャ王国の都）であったことも関心を深めた理由かもしれない。

ペルシャの歴史は、先史時代を含めるとおよそ七千年前にさかのぼる。紀元前6世紀に興ったアケメネス朝ペルシャは、西はエジプトから東はインド亜大陸に至る広大な領土を支配する「帝国文明」を誇り、当時の世界最高の水準を誇る建築、美術、工芸品を今に伝えている。なかでも、金属加工技術の粋を集めた金製品には目をみはるものがある。

世界最古の「帝国文明」とされるペルシャ文明の多種多様な遺品をはじめ、ユネスコ世界遺産・ペルセポリスから出土した彫像などイラン国立博物館の所蔵品を中心とする名品二百余点により、東西交流の拠点であったペルシャの美と歴史のひろがりをご紹介します。

有翼ライオンの黄金の



リユト
五三〇
前

ン（角杯）先端部が、アケメネス朝に典型的なモチーフである「有翼ライオン」の上半身で表されている。特に眼の下に表現された涙形の皺は、アケメネス朝のライオン図像の特徴で、ライオンはアケメネス朝王家の紋章的な存在であったと考えられている。

無頸壺

前五千年紀前



イラン高原の新石器時代に特徴的な彩文土器。赤い地に黒色顔料で幾何文、動物文が描かれている。横一列に連なる

動物意匠はかなり様式化されているが、角を強調した表現から、当時もつとも身近にいた家畜の、羊あるいは山羊と思われる。

黄金の杯

前五五〇



前三三〇年
くびれのあ
る金製杯で、
くびれ部に
は楔（くさ
び）形文字
の銘文、くびれより下部には菊花状の花弁文様が施されている。底部中央には持ちやすいように指を入れる窪みがある。銘文は、「クセルクセス偉大な王」と読むことができる。

甘辛チャンネル

自然の偉大さと恐ろしさ

災は忘れた頃にやってくる、でも数年前の新潟中越地震、まだ記憶に新しい能

づく感じた。阪神大震災の時には高槻でも、家具が傾いたり、棚の上の物が落下したり、場所によっては家屋に被害があった様です。「備えあれば憂いなし」とは言われます。震災後は自分自身を証明出来る物（保険証など）、懐中電灯、スリッパ（ガラスを踏まない為に）等を枕元に置いて就寝しました。用心深い方は、震災の教訓を生かして非常時の用意をしておられる事でしょうが、「喉もと過ぎれば暑さ忘れる」私自身全く其の通りで今では全く無防備で就寝しています。改めて天災の恐ろ

味WAY

梅干を漬ける

・福井梅・

種が小さく果肉が厚いのが福井梅の特徴です。

主に梅酒・シロップ漬けに使います。

梅干の薬効：・浄血作用
解毒作用・食欲増進・疲労回復・老化防止

梅干の効用：・肝臓の働きを強め血液浄化、酸性体質を改善、高血圧脳出血を予防します。

作り方

梅一キロ 塩二百 g
ホワイトリカ少々

梅干の塩分を抜く方法
梅干五百 gを水3リットルの中

にいれ、塩小匙一杯を加えてかき混ぜます

約12時間後に塩水を捨てて、再び水3リットル塩小匙一杯入れてかき混ぜ12時間置くと抜けます。

塩抜きした梅は 醤油・かつお節などで味付けして冷蔵庫に保存します。

M・K

ハナショウブ

四季彩

学名：Iris ensata

科、属：アヤメ科、アヤメ属。

和名：ショウブと呼ばれることが多いが、ハナショウブが正しい。

ものの区別が付けにくい事を「いづれがアヤメかカキツバタ」と言います。

本当のショウブはサトイモ科で端午の節句の菖蒲湯に使われるもので、花はまったく違う。

菖蒲園で鑑賞しているものは、ハナショウブ（花菖蒲）で原種はノハナショウブです。一面の菖蒲園には青紫、赤紫、紅紫、白、絞り等等の花を一望して楽しめますが、鉢植えにして展示してもまじかに見て楽しめます。城北公園の菖蒲園は、平日の花盛りには大勢のお年寄りや幼稚園児など、また介護施設の車椅子に乗った人々が一日楽しんでいました。 T. N

